



【理 念】

「私たちは人道・博愛の赤十字精神をたずさえて
温かみのあるより良い医療を提供します」

【方 針】

- 受診される皆様の権利と意思を尊重し、チーム医療による患者中心の医療を目指します。
- より良い医療を提供するために日々研鑽し、常に安全な医療を心がけ、医療水準の向上に努めます。
- 地域医療機関との連携強化に努め、疾病予防と健康増進を図るなど地域中核病院としての責務を果たします。
- 広く次世代を担う医療従事者の教育・研修の場を提供します。
- 国内の災害時の医療救護や救援活動を行います。
- 職員の協調と活力ある職場をつくり、経営の健全化に努めます。



総合病院 釧路赤十字病院
地域医療連携室

〒085-8512 釧路市新栄町21番14号
電話 (0154) 22-7171(代) (内線835)
FAX (0154) 22-7145 (地域医療連携室専用)
E-mail : r.hp.renkei@kushiro.jrc.or.jp
URL : <http://www.kushiro.jrc.or.jp>



就任のご挨拶



院長／近江 亮

釧路赤十字病院の院長を拝命して

2022年4月1日に山口辰美院長の後任として釧路赤十字病院の院長に就任することとなりました近江亮でございます。この場を借りまして、皆様にご挨拶申し上げます。

私は2002年1月に釧路赤十字病院に着任いたしました。以後、外科診療を担当し約20年間、微力ではございますが釧路の医療に携わらせていただきました。この間に救急体制の崩壊と急病センターの設立などによる救急の再構築を経験し、地域の医療機関連携の重要性と釧路の医療を支える皆様の地域医療を守ろうという熱い思いを痛感しております。これからは、釧路赤十字病院院長として地域医療における当院

の役割を広く考えながら、病院全体の運営に取り組んでいく所存です。なにとぞよろしくお願い申し上げます。現在の釧路地域における当院の役割として

1. 周産期センターの機能を有する総合病院であり小児科、産婦人科診療の中核病院として診療にあたること。
2. 糖尿病、腎疾患、膠原病といった、得意分野を生かした内科診療を提供すること。
3. 2次救急病院としてこの地区の救急体制を維持すること。
4. 地域包括ケア病棟、訪問看護などを生かした、高齢化社会に適応したシームレスな医療を提供すること。

などが求められているものかと考えております。これらをより充実させられる様に一層努力したいと思っております。

今後は人口減少、高齢化など医療の転換期の変化に適応するため、病院として様々な改革に取り組んでいかなければなりません。おそらくは病院もベッド数を減らしよりコンパクトな形態となっていくと思われま。しかし、より医療の質を向上し、安全、安心、信頼される病院となり、病院全体としての機能はより高めていかなければならないと思っております。院長として職員一人一人が力を発揮し医療の充実に取り組めるよう職場環境を改善し、時代のニーズに応えられるより良い病院となるように誠実に職務をはたしていく所存です。当院が釧路地域において、より貢献できる病院となります様に努力を続けてまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



副院長／東 正樹

釧路赤十字病院の副院長を拝命して

このたび令和4年4月1日付で釧路赤十字病院の副院長に就任いたしました。私は平成元年3月に北海道大学医学部を卒業し北大産婦人科に入局しました。以後いくつかの関連病院勤務のあと、最初は平成8年8月より約6年間当院に勤務し、その後平成16年10月より2度目の赴任となり現在に至ります。山口前院長の指導のもと医師としてのキャリアの大半を当院で積んできました。当院で産婦人科の医療を完結できることを目標に取り組んでまいりました。当院は総合周産期母子医療センターに指定されており、産科領域においては小児科の多大な協力のもと年間1000件を超える分娩を扱い、出生直後に手術が必要な新生児の症例以外はほぼ当科で対応しております。また、年間の手術件数は約700件で、婦人科領域においては、適応を順守しながら良性疾患のほとんどを内視鏡で行い得る体制を構築してきました。悪性疾患においては、治療成績の向上を目指しどの医師の執刀でも同等の手術を行えるよう指導してまいりました。さらに当科は北大産婦人科関連施設のなかでも非常に症例数が多い病院であり、毎年派遣される産婦人科後期専攻医の育成にも力を注いできました。

今年度から診療科の縮小など当院を取り巻く環境は厳しいものがありますが、今後は産婦人科としての診療に携わりながらも、病院幹部の一員として、今回新たに院長に就任された近江先生と力をあわせて、道東地区の医療の発展に貢献していきたいと思っております。また同時に断らない医療を実践していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

今年度から診療科の縮小など当院を取り巻く環境は厳しいものがありますが、今後は産婦人科としての診療に携わりながらも、病院幹部の一員として、今回新たに院長に就任された近江先生と力をあわせて、道東地区の医療の発展に貢献していきたいと思っております。また同時に断らない医療を実践していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



原発性免疫不全症 (Primary immunodeficiency:PID)について

小児科部長／戸澤 雄介

免疫不全症とは、免疫系に何らかの障害があり易感染性を呈する疾患です。免疫不全症患者さんの特徴として、反復感染をしたり、難治性であったり、症状が遷延したり、重症化したり、日和見感染を起こしたりします。

免疫不全症には続発性と原発性があります。続発性の方はHIV感染症やネフローゼ、蛋白漏出胃腸症、ステロイドや免疫抑制剤の使用により免疫系に異常が生じる疾患です。一方、原発性は先天的に免疫系のいずれかの部分に欠陥がある疾患であり、最近では不全だけではなくもっと広い概念として免疫異常症 Inborn errors of immunity: IEIと呼ぶこともあります。

先天的な免疫不全症は遺伝子異常によるものが多く、原因遺伝子は年々増え続け、現在は430を超える遺伝子が報告されています。

PIDの診断は困難です。なぜなら小児が感染症にかかることは珍しいことではないからです。大多数の正常な免疫発達過程にある感染症罹患児とPID患児を見分けるのは決して容易ではありません。そこで、PIDを疑う10の兆候(図)というツールがあります。これは厚生労働省の原発性免疫不全症調査研究班が作成したものであり、小児におけるPIDを疑うべき兆候が10の項目に分けて記載されています(http://pidj.rcai.riken.jp/10warning_signs.html)。簡単にチェックができ、多忙な外来や健診の合間にも有用です。

項目の1は緊急性を伴うため特に重要です。該当する場合は重症複合免疫不全症の可能性がります。この疾患はT細胞の欠損があり、細胞性免疫も液性免疫も起こらず、細菌、ウイルス、真菌などあらゆる微生物に感染します。造血幹細胞移植を行わないと1歳までに死亡する重症疾患です。本疾患ではしばしば体重増加不良が疾患を疑う契機になります。ふと気になった時に、成長曲線を作成することは非常に重要です。2,7はよく遭遇する疾患ですが、反復感染の回数に注目しています。3は呼吸器感染症の反復によって生じ得るものです。4はたまに出会う重症感染症ですが、繰り返す場合はPIDの精査を進める必要があります。5は難治性に焦点を当てたものです。抗菌薬の選択は、菌の種類と抗菌薬感受性、対象臓器、抗菌薬の性質や投与量などが重要ですが、適切と思わ

れる条件下で投与しても2か月以上改善しない場合はPIDを疑います。8は感染の持続性、重症度に注目しています。口腔内のカンジダ感染で起こる鵝口瘡や皮膚感染症は、乳児期に見られますが、1歳を超えても持続する場合は免疫系の障害を疑います。疣贅はヒトパピローマウイルス感染で起こりますが、通常は手足などに留まります。全身に出現する場合はPIDの可能性がります。9はそれぞれ具体的な遺伝子異常による疾患が想定されています。一例を挙げると、EBウイルスによる重症血球貪食症候群を起こすX連鎖リンパ増殖症という疾患の一つにXIAP欠損症があります。この疾患はCrohn病様の腸炎を合併する事があり、有効な治療は造血幹細胞移植です。近年早期発症の炎症性腸疾患とPIDの関係が注目されており、難治性の炎症性腸疾患を見たらPIDの可能性を考慮することが必要です。10は遺伝性疾患を疑ううえで重要な要素です。丹念な情報収集により、想定疾患を絞り込める可能性があります。これら10の兆候はあくまでPIDを疑う契機となるもので、該当したら必ずPIDというわけではないのでご注意ください。近年は北海道でも免疫不全症のスクリーニング検査が始まりました。PIDの早期発見治療に寄与するものと期待しています。

01 乳児で呼吸器・消化器感染症を繰り返し、体重増加不良や発育不良がみられる。

02 1年に2回以上肺炎にかかる。

03 気管支拡張症を発生する。

04 2回以上、髄膜炎、骨髄炎、骨髄炎、敗血症や、皮下膿瘍、臓器内膿瘍などの深部感染症にかかる。

05 抗菌薬を服用しても2か月以上感染症が治癒しない。

06 重症副鼻腔炎を繰り返す。

07 1年に4回以上、中耳炎にかかる。

08 1歳以降に、持続性の口腔菌、皮膚真菌症、真菌、広範囲疣贅(いぼ)がみられる。

09 BCGによる重症副鼻腔炎(骨髄炎など)、単核ヘルペスウイルスによる肺炎、髄膜炎による髄膜炎、EBウイルスによる重症血球貪食症候群に罹患したことがある。

10 家族が乳幼児期に感染症で死亡するなど、原発性免疫不全症候群を疑う家族歴がある。

これらの所見のうち1つ以上当てはまる場合は、原発性免疫不全症の可能性がないか専門の医師に相談して下さい。この中で、乳児期早期に発症することの多い重症複合免疫不全症は緊急に治療が必要です。

●以下のインターネットサイトで、専門家を紹介されています。
<http://pidj.rcai.riken.jp/public.html>



麻酔科ってどんな仕事をしているの？

麻酔科部長／鷹架 博之

内科医や外科医の仕事については、皆さんドラマや映画などで取り上げられることが多いのでイメージがしやすいのではないのでしょうか。麻酔科医と言われると、何か脇役的な存在で、血圧や脈拍数などを外科医に伝えるだけのようなシーンが散見されます。麻酔科医のイメージは殆どなく、何となく手術の時に麻酔をかけて眠らせる仕事という印象があるのではないかと思います。大まかに言うと決して間違っていないのですが、この機会に麻酔科のことを紹介できればと思います。麻酔科と言ってもいくつかの専門分野に分かれており、手術麻酔、ペインクリニック、緩和医療などがあります。今回はその中でも手術麻酔と麻酔科の仕事について少し触れさせていただきます。

まず、起きている時にメスで体を切られたら痛いし、怖いし、じっとなんかしていられませんかよね。じっとしてもらわないと危ないので執刀医も手術ができません。そこで、麻酔科医は麻酔薬（鎮静・鎮痛薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬など）を使用し、同時に、呼吸・循環管理（呼吸数・血圧・脈拍数などの管理）を行いながら、患者さんや執刀医のニーズに対応しています。

次に、麻酔薬に関して説明します。鎮静薬というのは眠らせて意識を消失させる薬のことです。起きたままで手術を受けると怖いと感じるのは当然のことです。鎮痛薬というと皆さんも使用したことがあると思いますが、痛みを緩和させる薬、いわゆる痛み止めのことです。ただし、手術中に使う鎮痛薬は医療用麻薬のようなとても強力な痛み止めのことが多いです。筋弛緩薬とは体の筋肉に力が入らなくする薬のことです。手術を受ける患者さんが仮にマッチョで筋肉質だったら筋肉が硬くてメスで切っていくのは大変かもしれません。

局所麻酔薬とは歯医者や皮膚科などで処置の際に使用する部分麻酔をイメージすると分かりやすいと思います。麻酔科医はその部分麻酔を患者の手術部位を司る神経に使用して痛みを緩和していくことがあります（神経ブロック）。これらの麻酔薬を使用すると、呼吸回数が徐々に減って自力では呼吸が出来なくなります。そこで、必要な手技が気管挿管となります。気管挿管とは空気の通り道である気管というところにチューブを挿入して、人工呼吸器に繋ぎ、人体に必要な酸素を取り込むことです。手術が終了し麻酔薬を止めると、意識が戻り呼吸ができるようになってきますので、チューブを抜去します。

まとめると、手術という「侵襲」から体を守るためには、恐怖を感じないように意識を消失させたり、痛みを取り除いたり、体を動かないようにしたり、急激な反応や反射が起きないようにする必要があります。

手術前に患者さんに会って診察し、必要なら追加の検査を依頼することもあります。こうして全身の状態を評価した上で、担当患者さんのために最も適した麻酔法を選択し、準備を行います。手術の後にも麻酔科医の仕事は存在します。手術が終わっても、術後の痛みはしばらく続くことがあります。そのため、手術中に使用した鎮痛薬が手術後にもどのくらい持続して鎮痛できるかを予測し、手術の後も患者さんの苦痛が少しでも小さくなるよう配慮しています。このように、手術の前後にわたって患者さんが安全かつ快適に手術が受けられるよう、麻酔科医は日々努力しています。その努力を怠らず、頑張っ参りますので、今後とも宜しくお願いします。



釧路ひがし耳鼻咽喉科

院長／小原 修幸



開業のご挨拶

皆様、はじめまして。2021年11月に釧路市武佐で耳鼻咽喉科の診療所を開業させて頂きました、小原修幸（おばら のぶゆき）と申します。この場をお借りしてご挨拶させて頂きたいと思っております。これまでは町立中標津病院で勤務しておりましたが、縁がありまして釧路に来ることになりました。開業は医師になった当初から考えていたことではあり、耳鼻科を選んだ理由の一つに開業の道に進むことができるということもありました。私自身は札幌の隣にある当別町出身で、高校・大学と札幌に通い札幌で勤務することが多く、道東では勤務経験も無かったのですが、開業するのであれば耳鼻科医が足りていない地域でやりたいと思い、当初は中標津での開業を視野に、5年前に町立中標津病院へ異動しました。中標津には出張で何度も訪れていましたので、自然に囲まれた田舎なのに空港もあって便利な場所ということで選びました。長く勤めていた場所を離れることは悩みましたが、釧路であれば来ていただける患者さんも多いことから決断しました。

院名の「釧路ひがし」には3つの意味が込められており、「釧路の東の方にある」「ひがし北海道の患者さんのための」「日本最東端の耳鼻科診療所」ということで決めました。釧路の土地勘は無かったので場所を決めたときにはあまりピンと来なかったのですが、それなりに交通量もある道路添いで商業施設も集まっており、なかなか良い場所に巡り会えたと思っています。

私の専門は耳鼻科の中では「耳」でして、北大

病院に在職中は難聴や中耳、人工内耳などの手術・診療を主に担当しておりました。耳鼻科の手術はほぼ全身麻酔になるため、開業後は執刀する機会はほとんどないと思っておりますが、耳の疾患やめまいでお困りの患者さんがいらっしゃいましたら是非ご紹介いただければと考えております。

当院の特徴としては予約システムにこだわりました。中標津では予約制ではありませんでしたので、診療開始時には30人位待っていて焦りながら診療していましたので、ゆっくり患者さんに対応したいということと、待ち時間をできるだけ減らしたいということ、中標津を初めとした遠距離から来る患者さんのために時間予約を導入したいということから決めました。スマホやPCを使っただけのウェブやLINE、プッシュホンからも予約が取れるというのが特徴です。現在では半分以上の患者さんがネットで予約をいれて来てくれています。今のところは前日までには7-8割程度予約が埋まっていますが、当日でも予約は入りますし、予約を入れていただければ待ち時間は30分以内で診療しております。設備はコーンビームCT、エコー、主に甲状腺機能の即日検査をするための生化学分析装置を入れました。バセドウ病や橋本病などの患者さんには即日で結果を出して内服薬の調整を行うことができます。

今後は釧路赤十字病院の皆様と連携しながら、釧路の地域医療に貢献していければと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



釧路ひがし耳鼻咽喉科

〒085-0806 釧路市武佐3丁目47番2号

☎0154-46-8133・FAX)0154-46-8134

URL) <https://kushiro-east-ent.clinic>

【診療科目】耳鼻咽喉科、アレルギー科

【診療時間】月 10:00～12:00／14:00～18:00
火・水・金 9:00～12:00／14:00～18:00
木 9:00～12:00
土 9:00～13:00
※日曜日・祝日は休診



『バイオシミラー』について

薬剤師／長崎 未季 with 釧路赤十字病院糖尿病研究会

本日は『バイオシミラー』についてお話ししたいと思います。皆さん、バイオシミラーをご存じでしょうか？あまり聞きなじみのない単語だと思います。では、『ジェネリック医薬品』はどうでしょうか？これはテレビCMなどで宣伝されていることもあり、多くの方が聞いたことがあると思います。

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許期間が満了した後に、他の製薬会社によって同一の医薬品を製造・販売された医薬品（後発医薬品）です。新たに医薬品を開発するには膨大な時間とお金がかかりますが、ジェネリック医薬品は開発コストを削減することができるため、薬価が安くなっています。

ではバイオシミラーとは何かというと、ジェネリック医薬品の様に特許が満了した後に他の製薬会社で作った医薬品ですが、対象としている医薬品が異なります。

医薬品には低分子医薬品とバイオ医薬品の2種類があります。低分子医薬品は様々な薬品を化学反応させて合成される医薬品で、その構造は小さくシンプルです。一方バイオ医薬品は生物(細胞や微生物)のタンパク質を作る力を利用して作られており、構造が非常に複雑です。低分子医薬品の後発医薬品をジェネリック医薬品、バイオ医薬品の後続品をバイオシミラーと言います。

ジェネリック医薬品は先発医薬品と同一の有効成分が含まれていますが、バイオシミラーは先行バイオ医薬品と“ほぼ”同じ有効成分が含まれています。これはバイオ医薬品の有効成分が複雑な構造のタンパク質であり、同一の有効成分を作ることがとても困難なためです。しかしバイオシミラ

ーの有効成分については、ジェネリック医薬品よりも非常に多くの試験を行っており、先行バイオ医薬品と同等の有効性（効き目）と安全性が確認されています。

さて、バイオ医薬品にはどんな薬があるのでしょうか？最初に開発されたのは『インスリン』です。バイオ医薬品は体内に足りないタンパク質を補うことで糖尿病や腎性貧血、血友病などの治療に使われたり、病気の原因を抑えることでがんや関節リウマチなどの治療に使われたりしています。2018年にノーベル医学・生物学賞を受賞した抗がん剤の免疫チェックポイント阻害薬もバイオ医薬品にあたります。

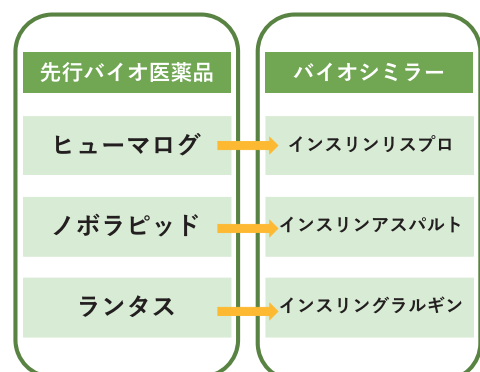
先行バイオ医薬品が複数の効能・効果を持っている場合は、バイオシミラーにもその効能・効果の全てを持っているわけではありません。インスリンにもバイオシミラーがありますが、全種類に存在するわけではありません。また、有効成分は先行バイオ医薬品とほぼ同じですが、タンパク質の構造が異なるため変更することでデメリットが生じる場合もあります。

バイオ医薬品には今まで治療が難しかった病気への効果が期待されていますが、開発・製造・品質管理が難しいため、薬価が高くなってしまいます。そこで作られたのがバイオシミラーです。バイオシミラーは先行バイオ医薬品と同等の有効性・安全性が確認されており、尚且つ安く使うことができるため、治療費の負担軽減や社会問題である医療費の削減に繋がります。

バイオシミラーに興味をお持ちの方は薬剤師にご相談下さい。

	ジェネリック医薬品	バイオシミラー
有効成分	同じ	ほぼ同じ
試験	生物学的同等試験	新薬に準じる試験
製造方法	化学反応で合成	生物の力を利用

インスリンのバイオシミラー





赤十字のご紹介

総務課長／中越 修仁

総務課長の中越と申します。日頃から医療機関の皆様には患者さんのご紹介などで大変お世話になっております。新型コロナウイルスの延防止等重点措置は3月21日で終了し、全国的に新規感染が減少傾向にあります。まだまだ学校や職場内、家族内での感染も確認されていることから引き続き警戒が必要です。

さて、今回は「赤十字」についてご紹介させていただきます。日本赤十字社は本社を東京都港区に置き、救護・社会活動、社会福祉事業、医療事業、血液事業等を行っています。全国に91の病院を設置し、各地域のニーズに沿った医療提供体制を備え地域医療に貢献、救急医療、がん診療、生活習慣病の予防や介護の支援、災害時における国内外への医療チーム派遣等さまざまな活動を行っています。

釧路赤十字病院は終戦まもない1945年12月1日に、前身である博済病院の地（釧路市浦見町）に日本赤十字社の病院として病床数74床で開設しました。1959年に現在の新栄町に移転し、幾度かの増改築を繰り返して現在に至ります。

赤十字のはじまりは、1859年イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで負傷した兵士が放置された悲惨な状況を目の当たりにしたスイス人実業家のアンリー・デュナンが「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士としてその尊い生命は救われなければならない」との思いから救護活動を行い、のちにこの戦闘の模様を『ソルフェリーノの思い出』に著し、国際的な救護団体の必要性を訴えたことでヨーロッパ各国に大きな反響を呼び、1864年ジュネーブ条約での調印により国際赤十字組織が誕生しました。日本では1877年西南戦争で明治政府軍と薩摩軍の激しい戦闘で両軍ともに多数の死傷者を出しました。のちの日本赤十字社の創立者（初代社長）である佐野常民と両元老院議員の大給恒は、救護団体による戦争、紛争時の傷病兵の救護の必要性を痛感し、ヨーロッパにある赤十字と同様の救護団体を作ろうと思い立ち奔走しますが、その実現には時間が掛かることが判り、征討総督有栖川熾仁親王に直

接、博愛社設立の趣意書を差し出し、有栖川宮熾仁親王の英断を以てこの博愛社の活動が許可されました。日本政府がジュネーブ条約に加入した翌年の1887年に名称を博愛社から日本赤十字社に改称し、現在に至ります。

3月23日現在、ロシアのウクライナ侵攻開始からひと月が経ちましたが、まだ停戦には至っておらず、病院や民間施設等に対しても攻撃が行われ、子どもを含む多くの民間人が犠牲になっているという報道を毎日見えています。日本赤十字社では「ウクライナ人道危機救援金」の募集などの人道支援活動を行っています。一日でも早くこの悲惨で非人道的な戦闘をやめてほしいと望むばかりです。

東日本大震災から11年が経ちました。3月11日には震災発生時の当時の凄惨な映像がテレビ等で流れます。また、少しずつ復興されていく東北の姿を見ていると、あらためて東北のチカラ強さを感じます。日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を果たすため、災害救護活動を積極的に行っています。2018年の胆振東部地震では釧路赤十字病院から災害コーディネーター、こころのケア要員等を派遣し、被災地での活動を行いました。

日本赤十字社の前身「博愛社」の創設日である5月1日、赤十字創始者のアンリー・デュナンの誕生日である5月8日の「世界赤十字デー」、これらの日を含む5月を、日本赤十字社では毎年「赤十字運動月間」として全国の赤十字施設において赤十字活動を広く知っていただくためにイベントを開催しています。釧路赤十字病院では病院を会場に釧路管内の小学校金管バンドの演奏、災害時物品展示、福祉施設バザー、献血案内、赤十字活動パネル展示、活動資金募集、非常食の試食、内視鏡手術体験・お仕事体験、お祭り広場・ゲームコーナーなどを開催しています。2020年と2021年は新型コロナウイルスの感染状況により開催することができませんでしたが、感染症の状況が落ち着いているようでしたら5月3週目の土曜日に行いますので、ご都合が宜しければお待ちしております。



災害救護訓練の様子



災害救護活動の様子



赤十字デーのイベント
小学生金管コンサート



赤十字デーのイベント
お仕事体験

新着任医師をご紹介します

<①職名 ②氏名 ③出身大学 ④趣味 ⑤ひと言>



内科



- ①内科副部長
- ②吉川 純平
- ③宮崎大学
- ④スポーツ観戦

⑤地域の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願致します。



- ①内科医師
- ②井上 雄太
- ③北海道大学
- ④ドライブ
ゴルフ

⑤1年間、釧路の生活を楽しみながら真摯に取り組んで参ります。



- ①内科医師
- ②住田 無限
- ③北海道大学
- ④卓球
和菓子巡り

⑤名前が印象的だと思うので気軽に「むげん」とお呼びください。一生懸命がんばります。よろしくお願致します!

循環器内科



- ①循環器内科部長
- ②坂井 英世
- ③北海道大学
- ④夏:少しだけラン、
冬:ちょっとスキー

⑤当地の他施設に勤務しておりましたが、山口前院長先生と坂井副院長先生からお声掛けをいただいて当院へ入職させていただくことになりました。循環器内科の立場から当院の内科診療の一助になれますように微力を尽くしたいと思っております。

小児科



- ①小児科医師
- ②藤田 大輝
- ③旭川医科大学
- ④アイスホッケー

⑤3月まで市立札幌病院で初期研修をしておりました。未熟者ではございますがよろしくお願致します。



- ①小児科医師
- ②山廣 晴菜
- ③北海道大学
- ④映画/ライブDVD鑑賞、最近はできていませんが、旅行・卓球など

⑤釧路の海鮮をととても楽しみにしてきました。至らない点も多いかと思いますが、1日も早くなじめるよう頑張ります。どうぞよろしくお願致します。

外科



- ①外科医師
- ②佐藤 友美
- ③産業医科大学
- ④食べること
寝ること

⑤これからよろしくお願致します。

整形外科



- ①整形外科部長
- ②小路 弘晃
- ③札幌医科大学
- ④サッカー、フットサル、
キャンプ、サウナ

⑤膝関節、足関節、人工関節、スポーツ医学を中心に、整形外科全般の診療を行っております。よろしくお願致します。



- ①整形外科副部長
- ②板橋 尚秀
- ③札幌医科大学
- ④なし

⑤よろしくお願致します。



- ①整形外科医師
- ②勝又 顕
- ③札幌医科大学
- ④ゴルフ
ランニング

⑤整形外科医4年目の勝又と申します。ご迷惑お掛けすることも多いかと思いますが、何卒よろしくお願致します。

泌尿器科



- ①泌尿器科副部長
- ②鰐淵 敦
- ③札幌医科大学
- ④なし

⑤よろしくお願致します。

産婦人科



- ①泌尿器科医師
- ②中島 佑輔
- ③札幌医科大学
- ④ドライブ
食べ歩き

⑤初めての釧路でおいしいお店などありましたら是非ご教授いただけたいと思います。まだまだ若輩者ゆえご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがよろしくお願致します。



- ①産婦人科医師
- ②小池 和生
- ③徳島大学
- ④バスケットボール鑑賞

⑤地域の患者様のために精一杯働きます。よろしくお願致します。



- ①産婦人科医師
- ②伏津 建太郎
- ③北海道大学
- ④スポーツ観戦

⑤至らない点もあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

歯科口腔外科



- ①歯科口腔外科副部長
- ②篠原 早紀
- ③北海道大学
- ④読書・映画鑑賞

⑤北海道出身ですが、道東での勤務は初めてです。よろしくお願致します。

臨床研修医



- ①臨床研修医
- ②齋藤 和馬
- ③福岡大学
- ④旅行・食べ歩き
飲み歩き

⑤道東地域の皆様の苦しさや不安に寄り添い解決できるよう尽力します。どうぞよろしくお願致します。



- ①臨床研修医
- ②千田 和希
- ③山形大学
- ④カメラ

⑤精一杯頑張ります。二年間という短い間ですがよろしくお願致します。



- ①臨床研修医
- ②山崎 碩嗣
- ③札幌医科大学
- ④カラオケ

⑤よろしくお願致します。

